

4月の子育て支援事業のご案内

3

すべての人に健康と福祉を



17

パートナーシップで目標を達成しよう



事業	とき		ところ
子育てサークル わらじっこ	毎週金曜	9時30分～11時	大王公民館 ☎ 72・2468
園庭開放	4月はお休みです。 5月から開始します。		浜島こども園 ☎ 53・1220
			志摩こども園 ☎ 85・3217
			鵜方保育所 ☎ 43・0156
			立神保育所 ☎ 45・2704
			えがお志摩保育園 ☎ 45・8600
			磯部こども園 ☎ 55・2347
			ひまわり保育所 ☎ 55・0177

※大王こども園での園庭解放は「子育てひろば」として月曜日から金曜日まで実施します。

浜島子育て支援センター ☎ 53・1220
志摩子育て支援センター ☎ 85・3217
磯部子育て支援センター ☎ 55・2347
大王こども園子育てひろば ☎ 72・0529

事業	とき	
育児相談	毎週月～金	9時～12時 13時～16時
子育てサロン		9時～12時 13時～15時

子育て支援センターわくわくの森 ☎ 44・1117

事業	とき	
センター開放	毎週月～金	9時～14時
育児相談		

※子育て支援センターでは、子育てに役立つ講座や親子で一緒に楽しめるイベントなども行っています。くわしくは市ホームページをご覧ください。



子育て支援センターホームページ

※いずれの事業も開催日が祝日の場合はお休みです

「しまふれあい人権フォーラム」
中学校の部より

学校教育課 ☎ 44・0336 / FAX 44・5263

昨年度、12月8日に「しまふれあい人権フォーラム」中学校の部を開催し、志摩市の中学生約190人が阿児アリーナに集まりました。

フォーラムでは、磯部中学校の菊川瑛さんと、文岡中学校の里中奏介さんが作文を発表しました。

菊川さんは「中学校で学んだ部落問題学習では、差別はダメなものという考えから、許してはいけないものへと自分の中で変わっていきました。そのきっかけをくれたのは父です。父の話を聞いて、差別は突然やってくるもの、そして、差別は身近にあるものだ改めて感じました。差別は、絶対にあってはならないものです。仲間とともに学び進んでいきたいです」と発表しました。

里中さんは「今まで人権について話し合ってきた気づいたことは、自分の中に差別心があるということでした。僕は親友から大切な相談をされた時に、無関心な言葉を返してしまいました、この経験から変わるべきなのは当事者ではなく、自分も含めた周りの人だと気づきました。僕はみんなと一緒に『実は…』という話ができなくするための第一歩だと思えます」と発表しました。

発表を聴いた参加者からは、「今、一緒に学んでいる仲間を大切にしていきたい。もし、差別にあった時は、一緒に学んでいる仲間を頼りたいし、頼られる存在になりたい」「部落差別について家の人と話をしたけど、ちゃんと理解していないので、フォーラムで学んだことを話したい」などの意見が出ました。

そして、フォーラムの後半では、参加者一人一人が自分のことを振り返りました。

「父がいないことをクラスで伝えたら、他の子が自分と家族の話をしてくれた」

「自分はダブルである。話すのが苦手な母にきつい態度をとってしまうから、今の気持ちを母に伝えようと思う」など、自分のことや家族のこの発表が続ぎ、市内の中学生がつながり、学校を越えてより深く学ぶ場になりました。



10 人や国の不平等をなくそう



17 パートナーシップで目標を達成しよう

